

徳川吉宗の大望遠鏡と

一閑張いちかんぱん



望遠鏡の1/5 模型も登場!



八代将軍吉宗は、改暦をおこなうために長くて大きい望遠鏡を作らせて江戸城内で天体観測をしました。
この望遠鏡の話をお聞きし、制作に使われた一閑張という伝統工芸の工作も体験しながら江戸の技術をひも解いてみましょう。

6月10日(土)
13:30 ~ 16:00

- ★講師 富田良雄さん、尾上瑞宝さん
- ★対象 興味のある方ならどなたでも
(小学校3年生以下は保護者同伴)
- ★定員 16組 32名 ※先着順
- ★料金 200円 ※ドリンクはありません
- ★受付 6月9日(金)までに電話で
上田市マルチメディア情報センター
TEL : 0268-39-1000

★講師紹介 富田 良雄
元京都大学大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学教室助教。
京都大学で天文学を専門として教育・研究に携わってきました。
また近年は日本の天文学の歴史を研究しています。知的刺激にあふれた工作が大好きで、吉宗公の天体望遠鏡の復元
模型製作もそのあらたな挑戦です。

おのえ ずいほう
尾上 瑞宝
ひらいっかんぱんせんおうし
飛来一閑張泉王子家14代家元。

京都嵯峨を拠点に、各地(福島、愛知、大阪、兵庫など)で
一閑張教室を開催し、伝統を次世代に継承しています。また
NHKの国際放送をつうじて海外へ日本の伝統工芸としての一
閑張を発信しています。一閑張は和紙と麩糊という自然素材
を用いる環境に配慮した工芸品としても注目されています。

【会場・お問合せ先】

上田市マルチメディア情報センター
〒386-1211 長野県上田市下之郷812番地1 TEL 0268-39-1000 FAX 0268-39-1010
<https://www.umic.jp/>